

「編む」

(1160×385mm)

芸術研究科 造形表現専攻
芸術表現領域 博士前期課程
2025年3月修了

宮下 舞香

主査 南 聡 副査 渡抜 亮 国本 泰英

研究背景

自分自身を投影した他者の姿や、日常で惹かれたものを描いています。それはきっと、自分という不安定な存在を客観視しながら受け入れ、憧れや希望を持ちつづけるためなのだと思います。

絹本の美しい滲みや透明感は、繊細な心情のうつろいを表現するのに適していると感じ、「絹本を支持体とした心情表現の追求」を研究テーマとして制作をつづけています。

研究目的

修了制作は「編む」をテーマに、一日のはじめに鏡の前に立ち、髪を編む女性の姿を描きました。髪は女性の命とも言われます。髪をとかし、整えることは、一日がいいものになりますようにという祈りにも感じます。日々を丁寧に編んで、作品を作り上げていきたいという思いで描きました。

成果・まとめ

「編む」という言葉には、糸や髪などを互い違いに組み合わせさせてひとつの形に作り上げる。様々な物事を集めて計画を立てて編成し、あるものを作り上げる。という意味があります。

私にとって制作と日常は切り離せないものであり、描くことは日々を編みつづけるということです。

研究概要



「編む」 2023年 1160×385mm 絹本著色



指導教員コメント

「編む」は、意識の深層に触れる精緻で透明感と深い静けさのある作品となった。
宮下舞香展 編む Artist Cafe Fukuoka Gallery Space 2025年3月4日(火)～3月9日(日)開催

南 聡